

●私立大学図書館協会中国・四国地区研究会(第44回)

【講演】

驚くほど学生が集まる 図書館演出術

—少人数集壇だからこそ今すぐできる即効アイデア—

講師 仁上幸治

(にかみ・こうじ/図書館サービス計画研究所 代表)

■2014年9月4日(木)・5日(金) (1泊2日)
第1日 9月4日(木) 13:15~15:00(105分 質疑応答込)
■山陽学園大学 多目的ホール(岡山県岡山市)

【0】はじめに

2



固定観念

4

クサガメ

- 爬虫類=下等動物?
- 寝てばかり?
- 鈍足?

5

授業中に学生に質問

このカメの動画を見て
図書館員の現状と課題についての
教訓を述べてみよう。

6

学生の回答

「図書館員は厳しい状況に置かれているので、内にこもって
はダメで、外の世界へ積極的に
出ていく姿勢が必要だ。」

パチパチパチ！！

7

動画はツカミに効く

8

プロローグの重要性

- 動画の現物再現力
- 画像の細部説明力
- 話のツカミ
- 自己紹介のイントロ

9

教訓

- ツカミは重要

10

ヒント

- ツカミは落語のマクラに学ぶ
- 笑いの取り方はお笑い番組に習う
- トークの極意はトーク番組から盗む

11

ヒント

- 期待の持たせ方はサスペンスドラマで
- 興味の持たせ方はワイドショーから
- 動画の使い方はニュースや投稿動画で

12

自己紹介

自己紹介

- 仁上幸治 (にかみ・こうじ)
- 図書館サービス計画研究所 代表
- 元・帝京大学 総合教育センター 准教授
- 元・早稲田大学 図書館司書
- 非常勤講師(法政大学、亜細亜大学、東京家政大学、桜美林大学)
- クサガメを室内放し飼い

自分ブランディング

15

- 名刺交換
- メール交換

17

●私立大学図書館協会中国・四国地区研究会(第44回)

【講演】

驚くほど学生が集まる
図書館演出術

一少人数集場だからこそすぐできる即効アイデア

講師 仁上幸治
(にかみ・こうじ/図書館サービス計画研究所 代表)

- 2014年9月4日(木)・5日(金) (1泊2日)
- 第1日 9月4日(木) 13:15~15:00(105分 質疑応答込)
- 山陽学園大学 多目的ホール(岡山県岡山市)

講演内容

- 【1】図書館員の疲労状況
- 【2】図書館を囲む壁
- 【3】壁を壊していく3つの視点
- 【4】有望な5つの取り組み領域

演出術
事例
教訓
ヒント

お願い

- 一回性のライブ
- スライド内容は後日ファイル配付
- ノート不要
- 感想・質問用のメモOK
- プロジェクター、照明、マイクボリューム、エアコンなど受講環境についての要望は随時

【1】図書館員の疲労状況

22

【1】図書館員の疲労状況

- 図書館員は疲れている？
 - 事例
- 図書館員の生き残りという問題意識
- 現場での改善努力
- 各種研修機会に参加
- 自主的な研究会・勉強会の運営参加

23

本末転倒

- 研修の準備・運営・事後処理に要する時間と労力
- 現場でのサービス改善に投入し成果を出す余力なし
- (懇親会はひとまず措く。(笑))

24

近況報告(1)

25

MULU?

MichinokU Librarian Union
みちのく図書館員連合

東北6県の図書館職員を中心に、2009年7月7日に結成された顔が見えるコミュニケーションの活性化を図るためのコミュニティ。

メンバー：107名(2012/3/6現在)

仙台2012

- ●2012.01.28-MULU(みちのくライブラリアン連合)1月茶話会
- 第2回ミニ図書館総合展@みちのく
- 東北学院大学中央図書館

□ http://mulu.g.hatena.ne.jp/michinoku_librarian201201011328868026

27

仁上講演

■図書館ブランディング「超」入門
—何を誰にどうアピールするか—

28

12/02/10 (Fri)

■第23回茶話会報告「第2回 三二図書館総合展中みちのく6周年会」

MULU

題：帝京大学 仁上幸治先生
『図書館ブランディング「超」入門：何を誰にどうアピールするか』

導入のつかみから目が離せない、面白さ間違いなしの講演でした。
先生の話術と精力的な活動、積極的な姿勢にたまたま心が奪われた時間でした。

30

仙台2014

■●2014.08.13-15 MULU5周年
記念定例茶話会

- MULU(みちのくライブラリアン連
合)第50回茶話会
- テーマ:「24 時間茶話会MULU
は地球(みちのく)を救う!-今日は
まるごと図書館三昧-」
- 東北大学川内キャンパス

31

仁上講演

■お疲れライブラリアン講座—即効
! 元気回復! PR・ブランディ
ング・広報のスコ技を一挙に紹介
します! —

32

MULU 第50回MULU5周年記念定例茶話会
24時間茶話会MULU5周年記念茶話会(お疲れ)を脱ぎ! 今年もまるごと図書館三昧!

2009年9月1日、開館の真実を語り継ぐ「みちのく」を
守る! という強い意志で結成された、みちのく
図書館協会 (Community Librarians Union) が、今年も成長を
遂げた。この年、記念すべき50周年茶話会を開催するに
当たり、お二人のゲストをお招きし、今年も夢中し
たことのあるお二人の報告、ぜひ聴いてほしい。

仁上幸治氏
お疲れライブラリアン講座
即効! 元気回復!
PR・ブランディング・広報のスコ技を一挙に
紹介します!

菊池雅人氏
専攻科による
本の機能活用(人文・15階)
—専攻科の新しい活かし方—
—専攻科の新しい活かし方—

33

庄子雅弘 @yunbo_7 · 8月12日

いよいよ本日! 【第50回MULU5周年記念定
例茶話会】

ゲスト: 情報の達人の仁上幸治氏・「仙
台学」の菊池雅人氏

日時: 2014/8/13 (水) ~14 (木)

会場: 東北大学川内キャンパス教育学部棟
2階201教室 ※会場は、13日13:00~17:00
のみ
どなたでも参加OK!

34

庄子雅弘 @yunbo_7 · 8月13日

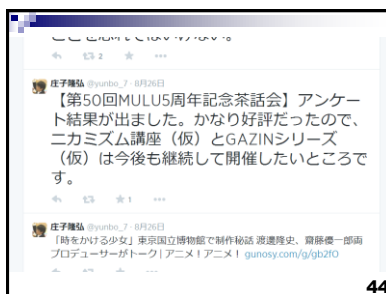
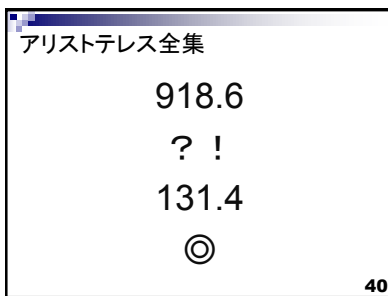
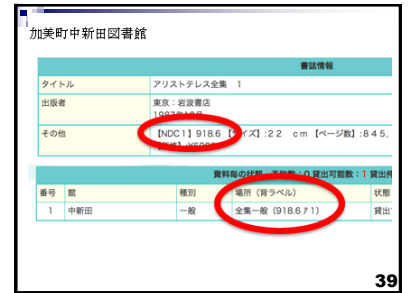
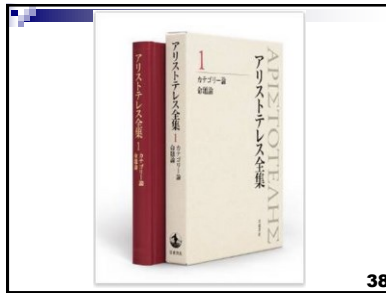
【第50回MULU5周年記念定例茶話会】仁上
先生の講演ははじまりはじまり♪(´θ´)ノ

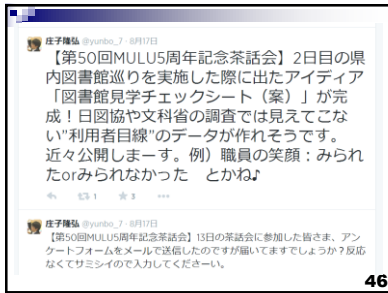
35

図書館見学

- 二日目: 5館
- 三日目: 3館?
- 移動距離200km以上!!

36





46

項目	評価	記入欄
施設:カウンターの数	◎	備考: 一般・児童
施設:階段	△	備考: 2階
施設:貸出施設	◎	備考: 図書
施設:図書	◎	備考: 児童
施設:会議室・集談室	◎	備考: グループ学習室/研修
施設:自習スペース	◎	備考:

47

【第50回MULU5周年記念茶話会】
 ■アンケート結果が出ました。かなり好評だったので、**ニカミズム**講座(仮)とGAZINシリーズ(仮)は今後も継続して開催したいところです。

48



49

- 映像資料
- 1)「図書館体操」(考案:みちのく図書館連合 庄子隆弘氏・東北学院大学図書館)
<http://www.youtube.com/watch?v=qcMfJmcR4is>
- ・図書館体操第一(動画紹介)『カレントアウェアネス・ポータル』Posted 2012年11月28日
<http://current.ndl.go.jp/node/22403>

50



東日本大震災と私と図書館



51

「周りの人から大変だねとか忙しそうだとおっしゃるうちはまだまだだなあ...」

53

図書館員は疲れている
 しかし
 弱音を吐いている場合ではない
 だから
研修!!

54

教訓

- 家に帰るまでが遠足
- 業務で成果を出すまでが研修

55

教訓

- 研修の記憶は半減期
30日!?

56

事前課題アンケート

57

■2014年度(第44回)私立大学図書館協会西地区部会における事前アンケート

- 最も自信のある取り組みの詳細
- 改善したい取り組みの詳細
- 新たに始めたい取り組みの詳細

58

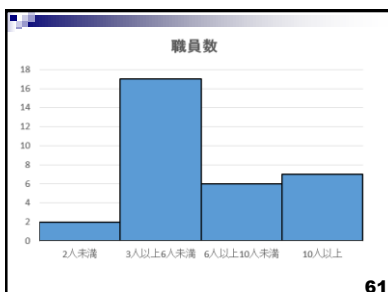
事前アンケート結果のまとめ

回答率
32/42
76.1%

59

加盟館	42	
有効回答	32	
職員数 (館)		
<2	2人未満	2
<6	3人以上6人未満	17
<10	6人以上10人未満	6
<22	10人以上	7
(人)		
min	最少人数	1
max	最大人数	21
ave	平均人数	6.7
med	中央値	5

30



1) オリエンテーション(ガイダンス)・講習会

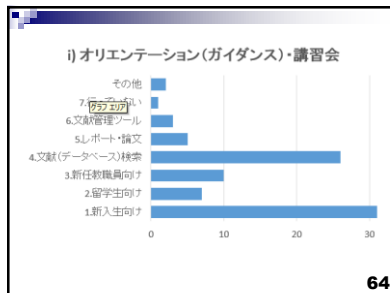
- 1.新入生向け
- 2.留学生向け
- 3.新任教職員向け
- 4.文献(データベース)検索
- 5.レポート・論文
- 6.文献管理ツール
- 7.行っていない

62

1) オリエンテーション(ガイダンス)・講習会

1 新入生向け	31
2 留学生向け	7
3 新任教職員向け	10
4 文献(データベース)検索	26
5 レポート・論文	5
6 文献管理ツール	3
7 行っていない	1
その他	2
A 看護職対象文献	
B 在学生	

63



最も自信のある取り組みの詳細

- i 図書館ガイダンス・情報調べ方講座を1年生から3年生にわたって学年の発達段階に応じた内容を精選し系統的に行っている。講義形式は採らず、実習形式で実施。
 - i-1 基本80分で、路長講話、DVD上映、利用案内、館内ツアーを学科別に新入生全員に実施している。
 - i-1 新入生の入門ゼミ(必修)で90分のガイダンスを実施。クイズ形式で書架から本を誘致させる。
 - i-1 4月上旬にすべての新入生に向けて、図書館案内案内・蔵書検索OPACなどのサービスについてガイダンスを行っている。約88%の学生が参加。アンケート調査では満足度も高い。
 - i-1 新入生全員に「図書館の利用と蔵書検索」の演習授業を90分の演習授業として実施し、資料の探し方だけでなく、貸出・返却、しポートの提出方法、文献の記述方法などについても指導している。4

65

- i 月から6月にかけて、新入生全員の必須授業として、10人~40人に対して、14回・約250人に実施している。この演習授業が新入生にとって、図書館利用のきっかけになっている。
- i-1 新入生全員に行っている。授業時間(90分)をもらい、説明、館内ツアー、実習を行う。実習は一人ずつ違う問題を渡し、検索させる。
- i-1 図書館ガイダンス、年間40回程度教員の求めて応じて実施
- i-1 年度初めに、全12学科の新入生に対し図書館利用のオリエンテーションを
- i 行っている。教員との連携を回り、毎年ほぼ100%に近い参加率となっている。
- i-1 その他、地域の臨床に勤務する看護職の方を対象に、看護文献の探し方について講習会を実施している。

オリエン

66

改善したい取り組みの詳細

- i 高学年向けのオリエンテーションを実施したい
- i-1 新入生の全クラスに実施したいが図書館職員の数もあり全てに実施出来ていません。担当者からのリクエストがあるクラスを中心に実施しています。
- i-1 ガイダンス後も継続的な利用に繋がるような、効果的なガイダンス方法、イベント等が知りたい。
- i-4 1つの図書館を大学・短大の合わせて5学科、1研究科、3専攻科が利用している状態だが、それぞれの利用者に対応した内容とはいえないので改善したい。
- i-4 文献探索セミナーを4月下旬に行っているが、参加者(約20名)が少ない。もう少し参加者を増やし、活気づけたい。

67

講習会

- i-4 4年間通じた体系的なガイダンス実施になっていないので、工夫したい。
- i-4 講習会参加者が少ない。ホームページとポスターによる掲示以外にも告知を行うべきか模索中。
- i-5 卒論関係のガイダンス・講習会について、図書館が募集しても参加者が少ない。ゼミの教員と連絡をとり授業と連携してもらって学生に興味をもってもらう、参加者を増やしていきたい。

68

新たに始めたい取り組みの詳細

- i キャリア支援のためのガイダンスの実施 今年から実施予定ですが試行中です。もう一点、貴重書の開放に取り組みたい。
- i 学修支援の充実
- i 教職員向けオリエンテーション 資料検索の電話や所蔵文献のLIL申し込み等、検索方法がわからない教員がいるので、説明会を行いたい。言い出しにくい。
- i 利用促進につながるイベントの開催。

69

- i-4 6 個人の習熟度に応じたデータベース講習会を開催したい。図書館の利用促進事業として、「学生のキャリア支援講座」を昨年度から開催している。学生に実習や就職に役立つ資料の提供だけでなく、実際に実演や資料の製作指導なども実施している。大変好評で、教員からの依頼もあり、授業での実演や製作指導なども実施している。学生も空きコマなどを利用して、自主的に参加している。そのスキルアップの効果が先輩から後輩に伝わって、学生が意欲的に取り組むようになり、図書館の資料の利用にも繋がって来ている。今後、他の学部学科についても、図書館でできるキャリア支援講座を検討して、挑戦していきたい。

70

オリエンテーション

- 新入生向けはほぼ全大学で実施
- その他向けは低い実施率

71

文献DB検索講習会

- ほぼ実施

72

課題

- 参加者増加
- 履修率向上
- 対象者拡大
- 効果向上
- キャリア支援
- 学修支援

73

ii) レファレンス

- 1.文献調査
- 2.レファレンスツールの作成
- 3.専門とするスタッフの配置
- 4.行っていない

74

ii) レファレンス

1.文献調査	32
2.レファレンスツールの作成	6
3.専門とするスタッフの配置	4
4.行っていない	0
その他	0

75

最も自信のある取り組みの詳細

ii-5 企業との連携を深めるために昭和40年の開学当初より、一般市民の方へ図書の間貸・貸出を行って来ました。

ii) 改善したい取り組みの詳細

ii) レファレンス (3. 専門とするスタッフの配置) および iv) 教職員との連携について

現在、学生サポーターは(大学院生)10名あり、1日2名体制で勤務に入ってもらっています。しかし、サポートを要したい学生との日程が合わないこともあり、サポーターの人数を増やして対応するか、先生方と連携し専門的な学習のアドバイスを行ってもらうかを検討していきたいと考えています。

新たに始めたい取り組みの詳細

ii-2 パスファインダーを作成したい。

76

iii) 部屋・スペースの活用

- 1.ラーニングcommons
- 2.パソコンルーム
- 3.シアタールーム
- 4.飲食スペース
- 5.ライティングセンター
- 6.行っていない

77

iii) 部屋・スペースの活用

1.ラーニングcommons	12
2.パソコンルーム	13
3.シアタールーム	4
4.飲食スペース	7
5.ライティングセンター	6
6.行っていない	0
その他	4

78

最も自信のある取り組みの詳細

ラーニング・commonsを開始した。開始当初から、利用者が多い。

iii-1 館内にHeartful, Joyful, Usefulの3つの学習スペースを設け、ラーニングcommonsを設置している。自由に使えるパソコン(26台)を置き、可動式の机、椅子、ソファなどが置いてある。授業期間には、LA(ライブラリアドバイザー)もいて、学生の質問に対応している。

改善したい取り組みの詳細

iii-6) 閲覧机をのぞいて、学生が自由に学修できるスペースがないので、検討中

新たに始めたい取り組みの詳細

iii-その他 スペースの有効活用として現在あまり利用されていないテラスを学生が活用できるスペースに工夫したい。

- ・ 館内のフリースペース(展示コーナー)で2年に1回程度のペースで栗原貞子記念平和文庫関係の展示をしたい。

80

PCとラーコモ

- 40%以下

80

iv) 教職員との連携について

- 1.リザーブブック
- 2.推薦図書
- 3.行っていない

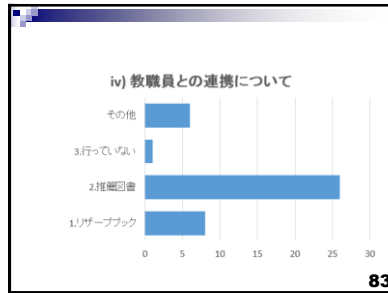
81

iv) 教職員との連携について

1.リザーブブック	8
2.推薦図書	26
3.行っていない	1
その他	6

A 図書館主催講座の講師
B 授業の中で講習会を実施
C 刊行物発行
D 図書館運営委員会
E 図書館イデックス
文献探索演習
F 図書館での授業
大学祭への協力
オープンキャンパスでの協力
図書館募集企画の授業での実施

82



最も自信のある取り組みの詳細

iv の連携において附属幼稚園とのタイアップ企画で『季節ごとのおすずの絵本』展示を行なっている。本学は、大学と短期大学に保育系の学科・専攻があり、教育実習時の絵本選定にも有効である。また、地域開放実施にあたって、附属幼稚園保護者や子育て支援事業の参加者、近隣の方々にも利用していただけているので、利用促進の一策となっている。

iv-2 推薦してもらった英語多読本を350冊所蔵。それにより、貸出や図書館内で勉強している学生を多く見かける。

iv-その他 教職員、学生の連んだ本とその推薦文により内容を構成した『新入生にすずめ50冊の本』を刊行し、コーナーを設置

ivとvの一部 教員との関係は良好で、毎日図書館でゼミがあります。Oのや大学祭のイベントにも大勢の参加者があります。(昨年の大学祭は「なでなで水豚路」)

84

改善したい取り組みの詳細

iv) の教職員との連携について、教員が授業等で参考文献として紹介された図書のリサーチができていないことがあるので、教員への情報発信・情報収集に努めていく。

iv-2 一部の教員からしか出でず、コンスタントに集まらない

vii-2 課題として応募されるものが多く、自主的な応募が少ない

iv-推薦図書→教員からなかなか提出されず、提出する教員に偏りがある。

春学期と秋学期の年2回、自由参加でのタイムスケジュールでの情報授業会を行っているものの、参加者が少ない。

新たに始めたい取り組みの詳細

iv)-1 リザーブブック制度の実施
iv)-iv-3 バスファインダーの作成

85

リザーブブック

■わずか8大学のみ;;
 <<授業支援サービスの最大の課題
 (のちほど、ヒント詳細)

86

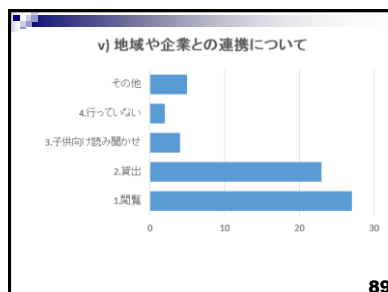
- v) 地域や企業との連携について
- 1.閲覧
 - 2.貸出
 - 3.子供向け読み聞かせ
 - 4.行っていない
- 87

v) 地域や企業との連携について

1.閲覧	27
2.貸出	23
3.子供向け読み聞かせ	4
4.行っていない	2
その他	5

A ロビー展示
B 学生、教職員、医療従事者のみ閲覧可
C 学科関連機関からの利用希望への対応
D こども図書館
E ワークママサポートへの協力
大学祭での開放とイベントの実施

88



v 地域や企業との連携について

最も自信のある取り組みの詳細

v 市との連携により、予約図書を大学で受取・返却ができる。市立図書館と相互に展示も行っている。

v 地域や企業との連携について

3 学生サークルと協力して、毎年幼児から小学生向けの絵本をテーマとしたイベント年3回行っている。読み聞かせだけでなく、工作や料理などの活動を行う。

その他 図書館ロビーを展示スペースとして、学内だけでなく学外の方にも利用していただいている。

v-2 学内施設の子育て支援センター利用の母親を中心に地域の方に貸出を行っている。

90

の連携について

改善したい取り組みの詳細	なし
新たに始めた取り組みの詳細	地域の公共図書館などの連携の強化 当館は一般の方には開放されていないので、学生や教職員の方にもっと図書館を活用して学習を深めていっていただけるような環境作りと連携の仕方を考えたいと思っています。 市立図書館と連携したイベントの実施

91

地域開放

- 閲覧と貸出
- 課題
- 公共図書館との連携

92

vi) マルチメディアによる広報・PR活動

- 1. 図書館のホームページ
- 2. SNS (Facebook, twitter, LINE, ブログなど)
- 3. 動画投稿サイト (youtube, ニコニコ動画など)
- 4. 図書館報などの出版物
- 5. 行っていない

93

vi) マルチメディアによる広報・PR活動

1 図書館のホームページ	30
2 SNS (Facebook, twitter, LINE, ブログなど)	6
3 動画投稿サイト (youtube, ニコニコ動画など)	0
4 図書館報などの出版物	17
5 行っていない	1
その他	2

A 学内ポータルへの書き込み
B 医学関連領域をテーマにした「ヒポクラテスの主権」という展示

vi) マルチメディアによる広報・PR活動

94

最も自信のある取り組みの詳細

vi その他 医学関連領域のテーマを設け、教員と連携しながら蔵書を増やし、利用促進を図っている。

vi-2 SNS (Facebook, twitter, LINE, ブログなど) の利用

改善したい取り組みの詳細

vi 利用促進につながる効果的な広報活動。

vi-4 こちらから情報発信しても、受け取っている利用者が少ない。図書館ホームページそのものの広報ができていない。 vii-1 参加した学生は喜んでくれるが、参加者を集めるのに苦労している。 vii-1 その他 どのイベントも参加者が少ない。 vii-1 広 図書館報の作成は毎年計画しているが実現が難しい。館長が短い期間で代わるため館報までなかなか行き着かない。

新たに始めた取り組みの詳細

vi-2 SNS

95

広報・PR

- ホームページと館報が主
- SNSはこれから

96

vii) 図書館による学生参加型活動

- 1. 学生選書ツアー(ブックハンティング)
- 2. ビブリオバトル
- 3. 読書感想文コンテスト
- 4. 図書館サポーター
- 5. 行っていない

97

vii) 図書館による学生参加型活動

1 学生選書ツアー(ブックハンティング)	13
2 ビブリオバトル	2
3 読書感想文コンテスト	7
4 図書館サポーター	11
5 行っていない	9
その他	10

A 学生アルバイト
B 多読ツアー
C すらん賞(読書推進イベント)
D 館内の装飾、道標、展示
E アルバイト
F 図書館ホスター(特設の専属)
G 学生自治会員会
H 図書館ボランティア
I 「図書館未来部の活動(展示など)利用案内やグッズのデザイン作成」
J 学生アルバイト(土曜日・夜間開館担当)
K 道書フェア
L 読書マラソン
M ブックカフェ
N とも図書館

98

vii) 図書館による学生参加型活動

99

学生参加型活動

- 40%以下

100

viii) 独自のロゴ・キャラクター、及びそのグッズ

- 1.作成または使用している
- 2.作成も使用もしていない

101

viii) 独自のロゴ・キャラクター、及びそのグッズ	
1.作成または使用している	10
2.作成も使用もしていない	22

viii) 独自のロゴ・キャラクター、及びそのグッズ

■1.作成または使用している
■2.作成も使用もしていない

102

ロゴ・キャラ・グッズ

- 30以下

103

i) 見てみたい資料

- 1.利用案内(総論)
- 2.利用案内(各論)
- 3.パスファインダー
- 4.チラシ(フライヤー)
- 5.ポスター
- 6.掲示
- 7.ILL申込用紙などの帳票類
- 8.グッズ

104

i) 見てみたい資料	
1.利用案内(総論)	12
2.利用案内(各論)	9
3.パスファインダー	19
4.チラシ(フライヤー)	7
5.ポスター	6
6.掲示	9
7.ILL申込用紙などの帳票類	3
8.グッズ	10

105

見てみたい資料

106

パスファインダー

- 関心は高い

107

どうやったらいいのか?
情報の共有とツール化

108

ヒント

- 先人の知恵に学ぶ
 - 図書館利用教育ガイドライン
 - 図書館利用教育ハンドブック
 - 情報リテラシー教育の実践
 - 問いをつくるスパイラル

109

事例

110

研修

- 2013.07.06-07-大学図書館問題研究会 福岡支部 特別研修「ハードコア・ノンユーザーの心をつかむ図書館ブランディング～潜在ユーザー発掘大作戦～」九州女子大学・九州女子短期大学付属図書館 3F多目的学習室(福岡県北九州市)

111

研修報告

2013年07月10日
福岡支部 特別研修企画(7/6-7) <開催報告 第1報> 特別研修企画 7月6日～7日の2日間に開催された、大図研福岡支部 特別研修企画「ハードコア・ノンユーザーの心をつかむ図書館ブランディング～潜在ユーザー発掘大作戦～」が盛会のうちに終了しました！

112

帝京大学の仁上幸治先生をお招きし、座学とワークショップを2日間に渡って行うという、非常に内容の濃い研修でした。
研修の中では、各大学における今後の活動のヒントとなるアイデアがたくさん生み出されました。
また、参加者の皆さんからは「参加してよかった！」「遠方から来た価値があった！」「楽しかった！」等×2、嬉しい感想が寄せられました。

113

[案内]

- [実況1日目]
http://d.hatena.ne.jp/dtk_fukuoka/20130710
- [実況2日目]
http://d.hatena.ne.jp/dtk_fukuoka/20130711

114

<第2日目>

2日目は10:00開始です。
各グループ前に設定した課題と解決策について、さらに議論も深めつつ、発表資料を作成します。
皆さん真剣な表情ですが、瞬に和やかな笑み、声も聞かなくなりました。




115

いよいよ発表です。各組の持ち時間は発表7分+質疑応答7分。
短い準備時間だったにも関わらず、色々なアイデアが発表されました。



116

全ての組の発表が終わったら、投票の時間です。
各自、ヒントのシール(2点)1枚、貴のシール(1点)2枚の合計4点を、「良かった」と思う組に投票します。



117

[報告]

- [資料一式・アンケート結果]
- <講師資料・各班発表資料・アンケート結果>
 - <https://sites.google.com/site/dtkfukuoka/home/document>
- <当日のツイッターまとめ>
 - <http://togetter.com/li/530375>
 - <http://togetter.com/li/530345>

118

事例

119

* 1年後の続編

- ●2014.6.14-大学図書館問題研究会 福岡支部 特別企画「潜在ユーザー発掘作戦で大発見!!—ハードコア・ノンユーザーの心をつかむ図書館ブランディングを学んで—」九州国際大学図書館
 - http://d.hatena.ne.jp/dtk_fukuoka/20140520
 - http://d.hatena.ne.jp/dtk_fukuoka/20140614

120

「成果報告」Ustreamライブ配信中!

- <http://www.ustream.tv/channel/%E5%A4%A7%E5%9B%B3%E7%A0%94%E7%A6%8F%E5%B2%A1%E6%94%AF%E9%83%A8-%E7%89%B9%E5%88%A5%E4%BE%8B%E4%BC%9A>

121

仁上による東京からのコメント

- (総評)
 - 参加者同士で研修成果を確認しあう研修は研修界の宝箱や!(笑)
- ●全般的注意事項メモ
 - 1) 配付資料をスライドにベタ貼り付けしてはいけません。基本!

122

- → ポイントだけを簡条書きに切り出して、スライド1枚当たり数行にレイアウトしなおす。
- → スライドとして、最後部座席からでも読める文字サイズに編集しなおす

123

- 2) 1枚のスライドに複数の情報を詰め込む必然性がない。
- → ひとつの図、ひとつの表をそれぞれ別スライドに独立させる。

124

研修報告ウェブ公開

- http://d.hatena.ne.jp/dtk_fukuoka/20140708
- http://d.hatena.ne.jp/dtk_fukuoka/20140710

125

特別企画:潜在ユーザー発掘作戦で大発見(記録その1)ブランディング
成果報告

6月14日(土)、昨年の企画「ハードコア・ノンユーザーの心をつかむ図書館ブランディング—潜在ユーザー発掘作戦—」の参加者から、この1年間の活動として、個人としてどのような事を行ったかが報告されました。

図書館ブランディングを学んで

「図書館に馴染みがない、あることなのに利用者が少ない」を解決するために、図書館に馴染みがない潜在ユーザーの心をつかむためのブランディングを学んで、実践する。実践が出来るようになるまで。

● 2014年6月14日(土)開催
● 九州国際大学 福岡支部 特別企画

成果報告1:大図書館員研修企画 図書館ブランディングを学んで / 立命館大学図書館 安室 友文 from dtkfukuoka

126

【2】図書館を囲む壁

127

【2】図書館を囲む壁

- 図書館員は**厚く硬い壁**に囲まれている。

128

1) 前例主義の壁

- ひとり職場
- 前任者から引き継ぎ
- ルーティン業務だけで精一杯
- 新規業務の余力なし
- 前例どおり

129

仁上の素朴な疑問

- 省力化のギリギリの努力は？
- 無駄な手間を省くためなら、どんな手間も惜しまない！（^^）

130

教訓

- 謙虚を装う怠慢
- 省力化に不熱心な人が忙しいを言訳にしているか
- まずショートカットキーの習慣化から

131

事例

132

- ●2013.08.23-24-九州地区私立短期大学図書館協議会研修会「忙しい図書館員のためのPC使い倒し「超」実用講座ー省力効果絶大な便利技をマスターしよう！ー」精華女子短期大学(福岡県福岡市)

<https://docs.google.com/file/d/0BzjFUntj382Ymw4VFE5X0phWnM/edit> 133

2) PULL方式の限界

- 来館者を増やすには？
- 利用・貸出を伸ばすには？
- どんな広報で？

134

事例

135

- 2013.08.11-大学図書館問題研究会全国大会第8分科会:利用者支援「イマドキの大学生のココロをつかむー初年次教育・図書館ガイダンス・授業の導入部にもっと工夫を!ー」つくば国際会議場(茨城県つくば市)

136

教訓

- とにかくできることから始める

137

PULL方式の限界

- 啓蒙効果はせいぜい20%程度
- 「利用せざるを得ない」状況作りが必須
- >>PUSH方式

138

事例

139

仁上の授業

自発的利用を強制する!(笑)

→方法詳細は別な講演機会に。
^^;

140

前提条件

- 図書館
 - リザーブ図書制度
- 教員
 - 図書館利用教育の教授法
 - FDの機会増加と応用実践評価
 - 非常勤講師向け機会設定

141

3) 自己認識の壁。

- 社会的評価とのギャップ
- 図書館員の自己アピール下手
- 省力化・効率化への意思の不足

142

事例

143

- 2014.07.30-神奈川県教育委員会学校図書館ブランディング論研修講座「学校司書のためのブランディング入門～イメージ革新のための劇的ビフォーアフター」神奈川県立神奈川総合高等学校多目的ホール(神奈川県横浜市)

144

事前課題アンケート

- 仁上論文4本読了
- 事前アンケート回答
- 当日、回答集計結果を投影

145

例1

設問への疑問点と回答

Q.ショートカットキーを活用していますか？

146

1)「ショートカットキーの活用にどういう意味が？」

- PCの達人イメージの印象づけ
- 合理化・省力化の意思表示

147

2)「本質論を欠いた表面的な流行を危惧します」

- ブランディングは表面的？
 - 経営革新手法！
- 手順前後？
 - すぐできることから着手！

148

3)「正論だが・・・」

- 何かが躊躇させる
 - **原因は外部？**
 - **自分の姿勢？**

149

危機意識

150



151

- 学校図書館問題研究会『学校司書って、こんな仕事 学びと出会いを』かもがわ出版 ¥1,512(¥1,400 2014/07 発行)
<http://www.kamogawa.co.jp/kensaku/syoseki/ka/0699.html>

152

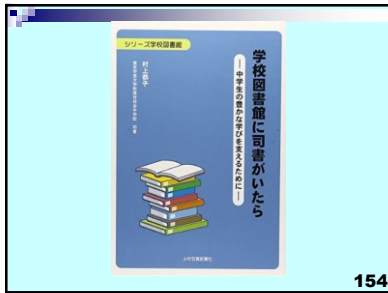
学校図書館法の一部を改正する法律案

http://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_gian.nsf/html/gian/keika/1DBAF42.htm?OpenDocument

専任・専門・正規
この要望は否決！

なぜ???

153



- 村上恭子『学校図書館に司書がいたら; 中学生の豊かな学びを支えるために』少年写真新聞社, 2014(シリーズ学校図書館).
- 2014-07-25 ¥1,890
- <http://www.schoolpress.co.jp/s-697/>

155

はじめに

- 私は現在、東京学芸大学の附属中学校に、**非正規ながら司書資格を持った専任の司書**として、毎日、そして生徒が登校してくる朝から放課後まで、図書館で仕事をしています。
- しかも、同じ学校に長く勤務し、近年は本校の**教育活動にも深く関わって**きました。

156

専任・専門・**非**正規
で充分
？

157

ジリ貧

158

大辞林 第三版

じり貧

① しいだいに貧乏になっていくこと。
↔ どうか貧

159



状況判断

- 地道な努力の積み重ね？
- いつかは評価される、はず？

No!

161

図書館員は専門職
？

162

どこが専門職？

- メディアのプロ？
- 保存と貸出のプロ？
- 編集のプロ？
- 媒介のプロ？

163

編集力

164

- 段組みが曖昧
- 図形の外形線がない
- 図形の大きさが不ぞろい

>>レイアウト力は怪しい？
司書課程で習っていない!

165

「ジリ貧」状況

- 専門職としての社会的評価が低落
- 「専任・専門・正規」の地位を失う
- 自己保身的な弁明
- 現状打開型の挑戦的思考へ

166

【3】壁を壊していく3つの視点

167

【3】壁を壊していく3つの視点

- 壁を壊していくには3つの視点

168

1) 固定観念を捨てる

- 発想の転換
- 外の世界に目を開く
- 異業種の人材から発想や仕事術を学ぶ

169

事例

170

ICU図書館

- 事例
- 誰も借りてくれない本100冊 ICU図書館で紹介:朝日新聞デジタル

□ www.asahi.com/articles/ASG6K5T12G6KUTIL030.html

171



172

ヒント

- 弱点を自虐ネタに
- スベリ芸も芸のうち

173

事例

174

鎌倉幸子さん(シャンティボランティア会)

175

MULUでの出会い

- 2012.01.28-MULU(みちのくライブラリアン連合)1月茶話会
話題提供「図書館ブランディング「超」入門講座－何を誰にどうアピールするか－」東北学院大学中央図書館 仁上講演

http://mulu.g.hatena.ne.jp/michinoku_librarian/2012/01/1328868026

176

ヒント

- ダメモトでトライ
- 意外な味方
- 思わぬ援軍
- 期待以上の大躍進

177

本を片手に、どこまでも。
Everywhere, anywhere, book in a hand.

178

・新宿区北図書館での偶然の再会

- 2013-07-14 図書館×広報×マーケティング
<http://ameblo.jp/1192-sachiko/entry-11572195358.html>
- 2013.8.8 ランチ@トルコ料理ヒサル(新宿区百人町)

179



180



- 図書館を愛してやまない人の飲み会
 - 第3回「ここが変だよ図書館用語」(ソフトドリンクあり)
 - ◆2013.09.27.Fri(19時スタート@シャンティ国際ボランティア会)
- 182



- 図書館愛人協会(略称)
- 図書館を愛してやまない人協会
 - 図書館を愛してやまない関根タ希子さんが伊勢に行く瞬間を見送る会
 - 2014年7月1日 19:00 - 21:50
 - タイ国屋台食堂 ソイナナ(西新宿)
- 184



教訓

- ジリ貧状況では何でもアリ！

187

- 2) 「できない」と言わない
- 変化を嫌う図書館界の悪しき伝統
 - マイナス面だけをあげつらう消極的心性
- 188

事例

189

新宿区立中央図書館

- 廃校になった中学校校舎へ移転
- 新館建設計画はビミョー？

190



Kotaro Fujimakiさんが新しい写真を2枚追加しました。
中央図書館の館に新しいクローバーが成長しています。旧体育館を活用した別館建築計画です。屋上はプールです。移し入館舎です。

192



- 新宿区中央図書館の玄関にある標語)
- <https://www.facebook.com/koj.nikami.10/posts/522106887894406>
- 旧中学校の玄関のまま

194

事例

195

ロックバランシング

- 石花ちとく
- <http://www.ishihana.jp/>
- 世界が認める日本のロックバランサーアーティスト(4'07")
- <https://www.youtube.com/watch?v=z4J2jYcm0Qg>

196

石花会 プロモーション映像2

197



教訓

- 提案前に諦めたら何も起きない
- どうせ思考がネック
- 停滞に安住は怠慢

199

もしも、予算が取れず、能力が不足
だったら…

里山資本主義

200

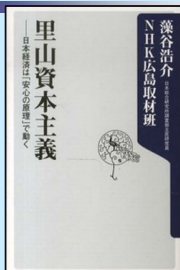
事例

201

里山資本主義

- 『里山資本主義』藻谷 浩介/NHK
K広島取材班 角川書店,
2013.7.
□ <http://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784041105122>
- 里山のチカラ - NHKオンライン
□ <http://www.nhk.or.jp/eco-channel/jp/satoyama/interview/motan01.html>

202



203



204

ヒント

- あるモノの徹底活用
 - 忘れ物文具
 - プリント裏面
 - スタッフ(隠れた才能)
 - 協力者(ボランティア)

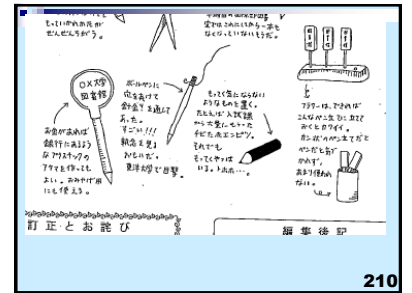
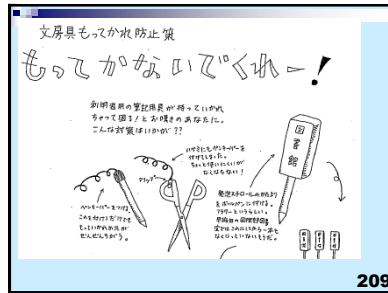
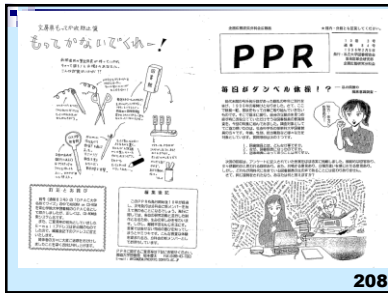
205

事例

206

- PPR(私立大学図書館協会企画
広報研究分科会広報誌)

207



教訓

- ヒト・モノ・カネ・トキは必ず不足
- 不足状況での打開アイデアの勝負

211

3) 楽しい仕事ぶりを見せる

- 厳しい社会情勢
- 苦しい後退戦
- 遊びとユーモアの精神

212

- PR(パブリックリレーションズ)とマーケティング
- 真面目さ、手堅さ、地味さは足枷
- ブランディングが有効

213

【4】有望な5つの取り組み領域

214

教訓

- 外堀を埋める
- 本丸を攻める

215

1) 研究室へ攻め込む

- 1. 帳票を再設計する
 - 講習会メニューを埋め込む
 - 帳票例1: ILL
 - 帳票例2: DB講習会
- >> 別紙資料

216

■2.研究室単位のインストラクター制度

- 研究室単位の固有の専門的文化の伝承装置
- その設置と運営を図書館が支援する

217

事例

218

■・仁上幸治「文献調査法の専門分野別最先端情報の共有へ向けてー研究室内知識伝承者を養成するインストラクター講習会の試みー」『ふみくら』77, 2008.12, pp.4-5.

□ http://www.wj.waseda.ac.jp/Libraries/fumi/f_index08.html

219

2) リザーブ図書の徹底的に充実させる

220

指定図書という誤解を解く

- アメリカ型授業モデル
- 予習・討論・レポート・成績
- 全受講者の確実な読了を保障
- 教科書・必読文献・推薦文献
- 蔵書・コースパック・ハンドアウト

221

事例

- 早稲田大学国際教育センターのリザーブ図書システム
- >> 別紙資料
- 仁上幸治「アメリカの大学図書館よりずっとアメリカ的!?—Much more American than American university libraries!?’」『早稲田大学国際教育センターニュースレター』第3号, 2000.7.10, pp.6-9.
- <https://docs.google.com/file/d/0BzjFUn1382MGjNDezYTI0WUxhY00YTU0Lj1hYkZlZGZmYjY0YzVmMGM0x000d07d09e3&hl=ja>
- 早稲田大学国際部図書室 シラバス原稿依頼2000年
- 早稲田大学所沢図書館 シラバス改善案2006年

222

教訓

- 徹底しないと効果がでないことがある
- 形だけ実施では効果を実感できない!

223

ヒント

- 徹底することで質を上げる

224

教訓

- 多忙な教員にお願いは無効

225

教訓

- 全教員より一人のキーパーソン

226

ヒント

- 自発的利用の強制
 - ただし**楽・得・喜**の満足を
 - 自然の流れを演出

227

3) ライティング支援に踏み込む

228

レポート・論文作成は一連の作業

- 情報探索・整理の次は表現
- 大学の教育研究への直接貢献
- 専任・専門・正規の3条件の確保へ

229

事例

230

事例

- 筑波大学附属図書館 ライティング支援連続セミナー
 - http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/writing_seminar/chishikitokotoba.html
- 早大:ライティング・センター所沢分室、図書館に開室!
 - http://www.wui.waseda.ac.jp/news/news_detail.html?news_no=440

231

参考

- ■ 帝京大学MELIC講座「レポート・論文作成「超」実用講座」
- 帝京大学メディアライブラリーセンター(MELIC) 2階 情報学習室

232

図書館主催の課外講座

- 講師担当(3年間)

233

234

課外講座「レポート・論文作成「超」
実用講座」(4回連続)

- 帝京大学図書館(メディアライブラリーセンター: MELIC)
- 講師: 仁上幸治: 帝京大学 総合教育センター 准教授

◎2012年度

- 2012.07.12-第1回「即効入門編: ただの感想文じゃダメだったのか!?!の巻」
- 2012.10.25-第2回「執筆準備編: いきなり書き始めちゃダメだったのか!?!の巻」

236

- 2012.11.29-第3回「読解・下ごしらえ編: イイとこ取りの丸写しじゃダメだったのか!?!の巻」
- 2012.12.06-第4回「執筆・仕上げ編: イッキ書き速攻提出じゃダメだったのか!?!の巻」

237

ヒント

- 『情報の達人』を使う

238

LIBRARY VIDEO SERIES

情報の達人

DVD 全3巻

総合監修: 社団法人日本図書館協会
監修: 仁上 幸治 (帝京大学)
制作: 株式会社 (南山学院大学)



239

各巻の内容

第1巻 図書館へ行こう! インターネット時代の情報活用入門

●収録内容

- 第1講 図書館「図書館へ行こう!」
- 第2講 大学や学芸員の仕事
- 第3講 情報リテラシーと情報活用
- 第4講 情報解決のための情報活用
- 第5講 さまざまなデータベース検索
- 第6講 検索の基礎から応用まで
- 第7講 検索で得た資料の活用
- 第8講 情報活用から情報活用まで
- 第9講 図書館は世界に広がっています
- 第10講 「情報の達人」をめざして

240

第2巻 **ゼミ発表をしよう! テーマ選びからプレゼンテーションまで**

●収録内容

- 第1講 発表「ゼミ発表をしよう!」
- 第2講 情報リテラシーの活用
- 第3講 情報活用からプレゼンテーションまで
- 第4講 データベース検索の手順と手法
- 第5講 データベース検索の活用
- 第6講 資料の活用と活用
- 第7講 資料の活用と活用
- 第8講 プレゼンテーションの活用
- 第9講 プレゼンテーションの活用
- 第10講 発表の活用
- 第11講 テキスト活用

241

第3巻 **レポート・論文を書こう! 誰にでも書ける10のステップ**

●収録内容

- 第1講 執筆「レポート・論文を書こう!」
- 第2講 レポート・論文の活用
- 第3講 テーマの活用
- 第4講 執筆準備と執筆準備
- 第5講 執筆準備と執筆準備
- 第6講 執筆準備と執筆準備
- 第7講 執筆準備と執筆準備
- 第8講 執筆準備と執筆準備
- 第9講 執筆準備と執筆準備
- 第10講 仕上げ

242



ウサギとカメ

- イソップ童話
- カメ
 - 鈍足
 - 地道に着実な歩み
 - 最後に勝つ
 - …でもメンドクサイ!

244

■ カメはノロくない!
■ 俊足のカメなら無敵!

245

● 2012年度第1回の学生の感想から

- 簡潔で分かりやすく、おもしろかったです。
- 10のステップが分かって良かった。
- 早く次回の講座をうけたいです。
- 骨組みが一番大事であると思った。
- レポート作成に対する自信が出た。
- 足の早いカメを目指す。
- 俊足のカメになれる気がします。
- レポートは俊足ガメになったつもりで!

- ★配布資料,スライド,アンケート結果など資料一式公開中!
- ★ビデオ記録ウェブ公開開始!(学内限定)[2012年12月]
□ <https://apps.v-main.teikyo-u.ac.jp/toshoh/lecture/report-koza.html>

247

4)街へ出る

- 市民講座の講師を務める
- 図書館活用法、データベース活用法など

248

事例

249


・梅澤貴典(中央大学学事部学事課副課長)

■ 「誰でもできる! 知的生産のための図書館&公的データベース活用法」2014.7.26 墨田区 ひきふね図書館

□ <http://www.ustream.tv/channel/umitoshopartners>

250

誰でもできる!
知的生産のための図書館
&公的データベース活用法



信頼できる情報の探し方

- 日時: 7月26日(土) 14:00~16:00
- 講師: 梅澤貴典氏(中央大学 学事部学事課 副課長)
- 場所: ひきふね図書館2階プロジェクトコーナー
- 受講料: 無料
- 定員: 30名(申し込み先着順)
- 定価が無料は当日も券付発行 発行開始: 7月11日~

51

7月26日

手応えのある講習会でした!
本当にありがとうございました。
本日は、データベース活用講座にご参加頂き、大変ありがとうございました。梅澤先生のいなせな浴衣姿もご堪能頂けたと思います。(^^)
講演会後、図書館関係者でお茶会をしました。

その後は花火大会へなど、三々五々。。。ustreamもよろしく願います。

<http://www.ustream.tv/channel/umitoshopartners>

252

- 市民からの評価が向上
- 評価の声を大学内へ逆輸入
- 大学図書館員の学内的評価を向上

253

5) ブランディングを実践する

- 館として、館員自身の自分ブランディング。
- 入門編
- 詳細各論は次の機会に。

254

図書館員の 悩み

255

館の実績

- サービス認知度が上がらない
- 利用が増えない

256

組織

- 図書館が組織の中で重視されていない(「突出はいかがなものか」)
- 上司が保守的
- 同僚が拒絶反応
- 外部委託・異動による人材育成の困難、研修コストの上昇

257

難関をどう突破すれば
よいか？

258

もしも、予算が取れたら・・・

259

帝京大学図書館

- 読書推進の取り組み
<https://apps.v.main.teikyo-u.ac.jp/tosho/tos.html>
- 松岡正剛とのコラボ企画

260

共読ライブラリー

261



共読ワークショップ(本棚を編集する)
■開催2012.7.25

263



公開対談！沖永学長×松岡正剛氏
■2012.7.25

265



読書推進運動
イベント連動型PR

267

アクティブ！

268

絶大な効果
■利用促進
■学内PR
■学外宣伝
■話題提供

269

問題点
「マツオカセイゴオ、誰？」

270

ブランディング研修

- 図書館ブランディング
- 図書館員の自分ブランディング

ワークショップ型研修
応用実践
発表報告共有
>>別な機会に

271

おわりに

272

まとめ

- 【3】壁を壊していく3つの視点
 - 1) 固定観念を捨てる
 - 2) 「できない」と言わない
 - 3) 楽しい仕事ぶりを見せる

273

- 【4】有望な5つの取り組み領域
 - 1) 研究室へ攻め込む
 - 2) リザーブ図書を徹底的に充実させる
 - 3) ライティング支援に踏み込む
 - 4) 街へ出る
 - 5) ブランディングを実践する

274

- 1. 参考文献
- 2. 参考サイト
- 3. 講師紹介

275

◎参考資料

276

- 参考1) 2013年度春学期「学校経営と学校図書館」(仁上幸治)
- 授業の計画一覧表
- 参考2) 事例:早稲田大学高等学院図書室
- 仁上幸治「わが校の図書館あんなに:早稲田大学高等学院」『学校図書館』no.489,1991.7, pp.70-71.巻頭口絵写真2p.
- 参考3) 早稲田大学高等学院図書室利用案内1989
- 参考4) 早稲田大学高等学院図書室(付属高校)の図書館報 1991年版

277

- 参考5) 早稲田大学高等学院図書室 投書箱実例
- 参考6) 葉の裏面見本:早稲田大学高等学院図書室「返却期限日葉」1989-91?
- 参考7) 田村修「神奈川県立川崎北高校図書館改造Before & After」『TTimes』[巻号不明],キハラ,2006?, pp11-14.
- 参考8) 札幌南高校の事例:卒業生とのコラボ

278

別紙資料

- 3) シラバス原稿依頼状例
- 4) 帳票例1: ILL
- 5) 帳票例2: DB講習会
- 6) 国際教育センターニューズレター
- ・参加者アンケート

279

◎研修機会

280

仁上講演予定

- 2014.09.20-22-図書館サービス計画研究所+地域資料デジタル化研究会共催「図書館ブランディングフェスタ2014」(仮称)山中湖情報創造館(予定)

281

- 2014.11.01-全国図書館大会 図書館利用教育分科会「図書館利用教育の実践力の今ー委員会創設25周年、次に向けての展望を開く」明治大学駿河台キャンパス(東京)
- 基調講演:仁上幸治「図書館利用教育はどこまで進化したか」
<http://www.jla.or.jp/tabid/400/Default.aspx>

282

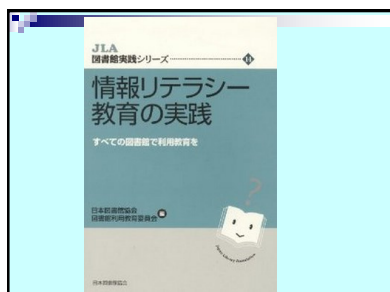
- 2014.11.05-図書館総合展フォーラム:図書館サービス計画研究所(略称図サ研)主催:今日から使える図書館ブランディングセミナー(4)11月5日(水)13:00~14:30フォーラム第7会場
- 基調講演:仁上幸治「味方づくり戦略入門ーPRを立て直すための「超」実践講座ー」

283

◎自習文献

284

- 図書館広報実践ハンドブック 2002
- 図書館利用教育ハンドブック 2003



JLA 図書館実践シリーズ

情報リテラシー教育の実践

すべての図書館で利用教育を

285

仁上最新論文

- 「忙しい図書館員のためのPC使い倒し「超」実用講座ー省力効果絶大な便利技をマスターしよう!ー」『短期大学図書館研究』33, 2014.3, pp.107-122. (CD-ROM版あり)(2013.08.23-24九州地区私立短期大学図書館協議会研修会/精華女子短期大学)(講演録)[全文PDF]

287

- 「情報リテラシー教育を担う小中学校教員をいかに養成するかー教職志望学生の徹底改造を目指す司書教諭科目からの提言ー」『帝京大学総合教育センター論集』(5), 2013, 2014.3, pp.69-93.

288

- 「情報メディアは作ってみればわかるーメディアリテラシー指導のプロ教師を育てる授業の工夫ー」『帝京大学情報処理センター年報』(16), 2013, 2014.3.31(7.26刊行), pp.95-109.

289

宣伝

?

290

◎仁上初単著

- 仁上幸治著『図書館員のためのPR実践講座ー味方づくり戦略入門ー』樹村房(2014年9月予定)
- シリーズ刊行(?)
 - ブランディング実践講座
 - パスマインダー実践講座

291

今日の結論

図書館員は疲れている
しかし、それでも頑張るしかない。
驚くほど学生が集まるには
図書館演習術を発想から変える必要
少人数職場だからこそ今すぐできる
即効アイデアの共有化・ツール化
研修のフォローアッププログラムを！
せめて
楽しく! (^_^)

292

おわりに

- 講演は以上です。
- ありがとうございました。

(@^)^y

293

質疑応答

294

トサケンへのお誘い

- 図書館界の知恵袋
- 館種を超える人脈ネットワーク 全国200名
- しがらみなしの自由交流
- 各地で勝手に支部活動

295

参加者アンケート

296

おみやげ: ALALしおり

- ALAGraphics
 - <http://www.alastore.ala.org/catalog.aspx>

297